

『まちだ自慢』サポーターと歩く 北部丘陵の里山

町田駅から直線距離でおよそ6kmの場所に位置する北部丘陵。
豊かな自然に恵まれ、多摩丘陵の原風景を残す景色が広がります。
今回は、町田市の魅力発信に取り組んでいる『まちだ自慢』サポーターの
坂井さんと井上さんに散策していただきます。
東京とは思えないのどかな里山をお楽しみ下さい！

※訪れる際は、ルールを守って歩きましょう

☎ 広報課 ☎ 724・2101 FAX 724・1171

1 奈良ばい谷戸

古き良き里山の風景が残る奈良ばい谷戸。谷戸とは谷状の地形のことを言います。この自然豊かな里山を維持するために、公募市民が中心となってNPO法人「まちだ結の里」が設立され、市民の手による農的環境の再生・管理を行っています。人の手が入ることで、自然がより美しく維持されていきます。



北部丘陵、散策スタート！

▲緑の稲が風に揺れる水田。農業による里山環境の保全が行われています。



▲木々がうっそうと茂る散策路を奥へと歩いていきます。



標識(+)を参考にしながら、コースをたどって下さい。

スタート「扇橋」バス停
今回のコースの距離 約2.5km (徒歩40分程度)
※詳細な地図は、町田市ホームページでご覧いただけます。

●アクセス
町田バスセンター12番乗り場から多摩丘陵病院行きバスで約25分、「扇橋」下車。

2 見晴らし広場



ここで、ちょっと一服。

天候によっては、遠く横浜のランドマークタワーを見ることができる見晴らし広場。緑の向こうに見える素晴らしい景色を一望しながらひと休み。

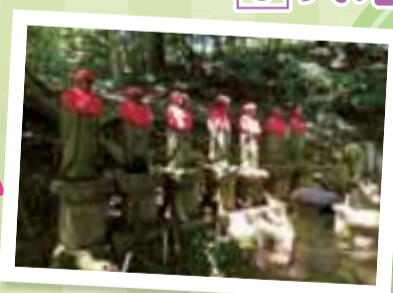


バイオトイレ ※地図の中では[WC]
好気性微生物の活動によって排泄物を分解するバイオトイレ。排泄物をおがくずなどの木質材と混ぜ合わせることで、好気性微生物が分解し、臭いを軽減します。



きれいなトイレがあって安心ね。

3 六地藏



仏教の六道輪廻の思想に基づいた六地藏。ここではなぜか七体設置。それでも、六地藏と呼ばれています。

4 小野路宿里山交流館



小野路産の地粉を100%使用した小野路うどん(日替り小鉢付) 550円▶

江戸時代、小野路地域にあった旅籠・旧「角屋」を改修してできた施設。小野路の歴史・自然・文化に触れ合う拠点施設として、また、地域の里山等を散策する方の休憩施設として、整備したものです。小野路産の食材を使ったお食事の提供や、野菜等の販売のほか、里山歩きのコース案内も行っていきます。

- 開館時間：午前9時～午後5時
- 休館日：12月29日～1月3日
- 住所：小野路町888-1
- 電話：860・4835



『まちだ自慢』サポーターの坂井早苗さん
北部丘陵を歩いたのは初めてでしたが、とても楽しかったです。ふっと昔を思い出させるような景色の奈良ばい谷戸が、とても印象的でした。



『まちだ自慢』サポーターの井上メイ子さん
この里山はよく歩く場所ではありますが、季節ごとの良さが感じられるのがいいですね。皆さんも、ぜひ一度訪れてみたいいかがでしょうか？